



北本市学校給食運営委員会委員長
中丸小学校校長
草野 智広 (写真右)

「おいしい!」「コレ大好き!」給食の時間、教室を見に行くと、子どもたちの笑顔とグツグツと音とともにこんな声がかかります。聞かなくてはいけません。

北本市は全校に給食室があり、作り立ての温かい給食が提供されています。また、**全校に配置された栄養士は、市内統一の献立を各校で工夫して、オリジナリティを出し、よりおいしく・楽しく・栄養バランスの良い給食を実現しています。**そして、**何より給食は、安全でなければなりません。**徹底した衛生管理と個別のアレルギー対応



等、日々きめ細かな安全管理をしています。さらに、**栄養士は食育の要として、家庭科や学級活動の授業、学年・全校集会、屋の放送での栄養指導、給食だよりでの啓発等を行っています。**

北本市の給食は、栄養士をはじめ、市内で100名以上働いている調理員、地元の農家の方々、生産・加工業者の方々、北本市の職員、教職員や保護者、地域の方々等に支えられています。その方々には、「**北本市の子どもたち一人ひとりに健やかに育ってほしい**」という共通した熱い願いがあります。一食の給食には、給食に係る大人たちの、めいっばいの「愛」が込められているのです。

今後も、北本市の一人ひとりの子どもたちの健やかな成長のため、お力添えください。よろしくお願いします。

北本市の子どもたちの健やかな成長のために。

“給食に込められているのはめいっばいの「愛」”



各学校で行われている食育の取組み



給食集会

市内各中学校の給食委員の皆さんが、一緒に委員会活動の時間を使い、担当の先生たちと食材の産地クイズやオリジナルの劇など、給食について楽しく学べる教材を作成しています。全校集会での紹介は毎年大盛り上がり!

ひとこと

給食のことをどう伝えたら学校の人々に響くか、意識が高まるかを一緒に考えて、委員の皆さんがやりたい!と思ったことを形にしています。活動する中で私が生徒たちから学ぶことも多いんです。

西中学校栄養士 朝比奈舞主任



学校ファーム (体験農場)

市内小学校で実施している農業体験。毎年9月末ごろに子どもたちが大根の種をまき、約2か月後に収穫して各ご家庭に持ち帰ります。北本市農業青年会議所のメンバーが学校近くの畑を整備し、子どもたちの農業体験の場を提供しています。

ひとこと

毎年1月頃から何度も畑を耕して、9月の種まきまでにマルチ(保温のための黒いフィルム)を張り、きれいな畝を作っています。自分で種から育てた野菜は格別の美味しさ。これを体感して欲しくて毎年頑張っています。ぜひ味わって食べてくださいね。

柿崎俊彦さん

